

平成 20 年 整形外科

【国内学会】

- 1) 頸部痛と肩こりの疫学調査. 横山徹, 小野睦, 沼沢拓也他. 第 81 回 日本整形外科学会学術総会, 2008, 札幌.
- 2) RA 環軸椎亜脱臼例における Magerl 法と Brooks 法併用固定術後の意図しない C2-C3 癒合. 田中直, 横山徹, 竹内和成. 第 37 回 リウマチの外科研究会, 2008, 高崎.
- 3) 非骨傷性頸髄損傷患者の予後. 熊谷玄太郎, 小野睦, 横山徹他, 第 43 回 日本脊髄障害医学会, 2008, 札幌市.
- 4) 高齢者の腰椎変性すべり症に対する棘突起間切除式腰椎除圧術. 板橋泰斗, 沼沢拓也, 横山徹, 第 16 回 日本腰痛学会, 2008, 東京都.

【国際学会】

- 1) Relationship between axial symptom and quality of life in a Japanese population. T. Yokoyama, A Ono, T Numasawa, et al., 24th annual meeting, Cervical Spine Research Society European section, 2008, Geneva, Switzerland.

【講演会】

- 1) 腰部脊柱管狭窄症と腰椎椎間板ヘルニアの自己チェック票. 横山徹, 秋田県北腰痛セミナー, 2008, 大館市.

【原著】

- 1) RA 環軸椎亜脱臼例における Magerl 法と Brooks 法併用固定術後の意図しない C2-C3 癒合. 田中直, 横山徹, 竹内和成, リウマチの外科研究会誌, 2008, 4, p163.
- 2) 胸椎後縦靭帯骨化症に対する手術成績に影響を与える因子の検討. 松本守雄, 千葉一裕, 横山徹他, 臨床整形外科, 2008, 43, p531.
- 3) C3 椎弓切除を加えた C2 頸半棘筋温存による拡大術. 竹内和成, 横山徹, 整形外科最小侵襲手術ジャーナル, 2008, 48, p27
- 4) 頸椎椎弓形成術後の包括的健康関連 QOL. 沼沢拓也, 横山徹, 小野睦他, 臨床整形外科, 2008, 43, p997.
- 5) 脊椎手術における術前抗菌薬単独投与のみの感染管理. 沼沢拓也, 横山徹, 小野睦他, 臨床整形外科, 2008, 43, p1005
- 6) Surgical results and related factors for ossification of posterior longitudinal ligament of thoracic spine. M Matsumoto, K Chiba, T Yokoyama, et al., Spine, 2008, 33, p1034.
- 7) Radiographic predictors for the development of myelopathy in patients with

oddification of the posterior longitudinal ligament. S Matsunaga, K Nakamura, T Yokoyama, et al., *Spine*, 2008, 33, p2648.